松原市産業振興ビジョン策定のための
松原市内の商業事業者のみなさまへのアンケート

＜アンケートへのご協力のお願い＞

松原市内で「あきない」に携わっておられるみなさまには、我がまちの繁栄を支えていただき、ありがとうございます。松原市はみなさまに少しでも便利に気持ちよくお仕事をしていただける「まちづくり」を進めるために知恵を絞っておりますが、このたび「松原市産業振興ビジョン」をつくり、社会に即応し、時代に先駆ける産業の振興・支援のための取り組みを改めて方向づけることといたしました。

大阪市近郊の恵まれた立地を背景に、高度成長期に急激に発展拡大してきた松原市ではありますが、ここ 10 年ほどの間に、人口も減少基調に入り、全ての産業部門で縮小傾向が明らかになっています。長期化する景気低迷と人口減少、少子高齢化の中であっても、松原市内の商業者のみなさまには、今後とも松原市民の豊かな生活を支えていただきたく、松原市としてもみなさまと手を携えて歩んで参りたいと考えています。

そこで今回、上記の「産業振興ビジョン」づくりの基礎として、またその内容を充実させるための資料とさせていただくために、アンケートを実施することといたしました。どうか率直なご意見、ご提案をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

平成 23 年 9 月

松原市　市民生活部　産業振興課

＜ご記入いただく際のお願いとご注意＞

・このアンケートは松原商工会議所にご入会の商業事業所の全てにお送りしています。
・アンケートは事業所ごとに 1 通です。設問内容に適したご担当の方のご記入をお願いします。
　・同一法人であっても事業所ごとにご記入をお願いします。
・選択式の問いには原則として「ひとつ」の番号に○をつけてください。
　・「いくつでも」と但し書きがある設問は、複数に○をつけていただけます。
　・「主なものひとつに◎」の設問は、最も強く、重要なものひとつに◎をつけてください。
　　それ以下のものには○をつけてください。
・数字や文字でご記入いただく欄には、読みやすくお書きいただきますようお願いいたします。
　・筆記具は特に問いませんが、黒色で、はっきりとご記入ください。
・ご記入いただいたアンケート票は、同封の封筒でご返送ください。切手は不要です。

このアンケートは平成 23 年 9 月末日の消印まで有効とさせていただきます。

＜お問い合わせ先＞

このアンケートに関するご質問やお問い合わせは、以下までお願いいたします。

松原市役所／市民生活部・産業振興課
担当：（商工係）篠本（ささもと）・中尾
電話：072-337-3112（直通）
FAX：072-337-3005
E-mail：keizai@city.matsubara.osaka.jp

A. 事業所と事業内容について

(1) 店舗の立地

貴事業所（以下、店舗）は、松原市のどちらにありますか。

松原市（　　・　　）丁目　または郵便番号（　　-　　）

また、貴事業所が属する企業の本社、またはグループの本部はどちらにありますか。

（　　）都道府県・国（　　）市町村

(2) 店舗の種別

貴店舗の種類は、以下のどれですか。

1. 個人経営の卸売店　2. 法人経営の卸売店（本店）　3. 法人経営の卸売店（支店）
4. 個人経営の小売店　5. 法人経営の小売店（本店）　6. 法人経営の小売店（支店）
7. その他（　　）

(3) 事業所の規模

現在の貴店舗の規模をお聞かせください。

土地（総面積）：　　m2（所有・賃貸）
建物（床面積）：　　m2（所有・賃貸）

(4) 事業内容について

現在、貴店舗で行っておられる事業の内容について、お聞かせください。

主な取扱品：

主な仕入元：　　内、海外からの輸入　　%
主な納品先：　　内、海外への輸出　　%

B. 現在の事業状況について

(5) 従業員について

現在の貴店舗の従業者（有給）は、以下の区分でそれぞれ何名ですか。

常勤役員：　　名　　正規従業員：　　名
派遣従業員：　　名　　パート従業員：　　名
アルバイト：　　名　　その他（　　）：　　名

(6) 事業規模の動向について

近年、事業規模の縮小を余儀なくされておられる店舗が少なくありません。貴店舗ではいかがですか。また近年、事業を拡大または縮小しておられる場合、その程度をお聞かせください。

1. 現在も事業規模の拡大を続けている
   →現在の事業拡大はいつごろから始まりましたか。：昭和・平成　　年頃
   →拡大の程度は年率平均でどの程度ですか。：プラス　　% 程度
2. 近年、事業規模を縮小しつつある
   →いつごろから縮小し始めましたか。：昭和・平成　　年頃から
   →縮小の程度は年率平均でどの程度ですか。：マイナス　　% 程度
3. 近年は、拡大も縮小もしていない。

(7) 事業の拡大または縮小の要因について

上でお答えいただいた事業の拡大または縮小には、どのような要因が挙げられますか。主な要因と考えられることがらを、できるだけ具体的にお聞かせください。

C. 今後の事業展開の見通しについて

(8) 今後の事業の拡大または縮小の見通しについて

現在は、上でお答えいただいたような要因によって拡大または縮小の状況にあるとして、これが長期的に継続するとは限りません。今後 10 年程度のスパンで、貴店舗の事業の状況はどのように変化するとの見通しをお持ちですか。

1. 大きな拡大が十分に期待できる
2. 大きくはないが拡大の期待はある
3. ほぼ変化なく推移すると思う
4. 大きくはないが縮小を余儀なくされる
5. 大幅な縮小を余儀なくされる
6. その他（　　）

(9) 状況の変化を予測する要因

上の (6) でお答えいただいた現在の拡大または縮小の状況および要因と、(8) で想定される状況に違いがある場合、その変化（縮小から拡大へ、または拡大から縮小への変化）は何によって起こるとお考えでしょうか。主な変化の要因とお考えのことがらを、できるだけ具体的にお聞かせください。

D. 事業環境としての松原市への評価について

(10) 人口減少と産業低迷による影響ついて

大阪市近郊の松原市では昭和 40 年代を中心に、住宅地開発による人口の増加と産業立地が急速に進んできましたが、ここ 10 年、人口の減少など成長鈍化の傾向が見られます。貴店舗の場合、こうした松原市の状況の変化による影響はありますか。

1. 全く影響はない
2. 小さな影響はあるが問題はない
3. やや大きな影響があるが、対応するために努力している
4. 非常に大きな影響があり、解決することが難しい

可能であれば、現在抱えておられる影響や問題の概要をお聞かせください。

(11) 物流交通について

松原市には高速道路をはじめ幹線道路の整備が進んでおり、トラック輸送をはじめとする物流（仕入れ･配送など）の環境は比較的良好かと思われますが、貴店舗にとってはいかがですか。問題のある点を以下から「いくつでも」選んでください。

1. 高速道路が渋滞しがちである
2. 国道・府道や IC 周辺が混雑する
3. 幹線道路から店舗までの道路が十分に整備されていない
4. 店舗のすぐ前の道路が十分に整備されていない
5. 道路は整備されているが、路上駐車などにより円滑に通行できない
6. その他（　　）
7. 特に問題はない

(12) 通勤・来店の交通について

近鉄南大阪線をはじめ、従業員のみなさんの通勤のための交通は比較的便利かと思います。貴店舗にとって、現在の立地での通勤・来店の交通環境をどのように評価しておられますか。問題のある点を以下から「いくつでも」選んでください。

1. 鉄道駅が遠く、駅からのバスなども不便である
2. 鉄道駅は近いが、店舗までの道路が混雑し、危険でもある
3. 自転車やバイクによる通勤や来店が多いが、道路が狭いなど、安全に不安がある
4. 自動車による通勤・来店が多いが、道路が渋滞しがちである
5. 自動車による通勤や来店の希望が増えているが、駐車場が確保できない
6. その他（　　）
7. 特に問題はない

(13) 優れた従業者の確保について

松原市では、松原市で営業する店舗でより多くの松原市民が雇用機会を得ることを希望しています。また貴店舗にとっても通勤時間距離の短い松原市内からの雇用には利点もあると思います。

優れた従業者を確保する、という観点で、松原市をどのように評価されますか。

1. 非常に多くの優れた働き手がおり、満足している
2. 多くの意欲ある働き手がいるが、技術や知識が不十分な面がある
3. 雇用を希望する人は多いが、働く意欲や姿勢にやや問題を感じる
4. 市内の方を雇用したいと思うが、求人への反応が鈍い
5. 特に松原市など近隣からの雇用には関心はない
6. その他（　　）

(14) 地産地消について

産業・経済のグローバル化の一方で、地域に固有の産物への関心と、その活用を通じた地域経済の活性化手法としてのいわゆる「地産地消（地域生産・地域消費）」が注目されています。松原市に農業や工業による多様な産品があります。松原市（または近隣を含む）での「地産地消」に関心はお持ちですか。

（→次ページへ続く）

1. すでに、地域の農産物や工業製品を積極的に扱っている
2. 地域の農産物や工業製品を扱うことに、強い関心がある
3. 地域の産品を扱うことに興味はあるが、それほど強い関心はない
4.「地産地消」には、全く関心がない
5. その他（　　）

(15) 近隣地域での産業連携、産学連携について

松原市には多くの工業事業所や商業事業者があり、また阪南大学が立地するなど、産業間連携や産学連携に多くの可能性があると考えます。現在まで貴店舗ではそうした地域内連携にどのように取り組んでおられますか。

1. 大学や研究機関との共同開発などに中心的な役割を担っている
2. 同業種、関連業種の企業などとの共同事業に取り組んでいる
3. 産学連携や地域産業間連携に関わったことはあるが、成果が得られていない
4. 産学連携や地域産業間連携に関心はあるが、関わったことは無い
5. 産学連携や地域産業間連携には、特に関心はない
6. その他（　　）

産業連携、産学連携で特に関心をお持ちの分野などがあれば、お聞かせください。

E. 松原市などによる産業振興施策について

(16) これまでの産業振興施策の活用について

松原市ではこれまでも、地域の産業の育成と振興のために、様々な施策を実施してきました。貴店舗（または所属する組合、商店会など）では松原市による産業支援のための施策を活用された経験をお持ちですか。また、施策活用の経験をお持ちの場合、その施策内容と主な成果、および問題点などをお聞かせください。

1. 松原市による産業振興、産業支援の施策を活用したことはない
2. 松原市による産業振興、産業支援の施策を活用したことがある

→いつごろのことですか。：昭和・平成（　　）年頃

→どのような内容の施策でしたか

名称または概要

→どのような成果が得られましたか

施策活用による主な成果

（→次ページへ続く）

→施策活用において何か問題はありませんでしたか

施策の活用に当たって感じた問題点など

(17) 今後、重点とすべき松原市の産業支援施策について

このアンケートをはじめとして、今年度実施する調査研究を通じて、松原市は「産業振興ビジョン」をつくり、時代潮流に即応し、松原市の企業のニーズに応え、実効ある成果をあげることができる施策体系を再構築しようとしています。

貴店舗の立場で、地方自治体としての「松原市」が今後実施すべき産業（商業）振興のための施策は何でしょうか。以下から、主なものひとつに◎、必要と考えるもの（いくつでも）に○をつけてください。

また「主なもの」について、施策の具体的な内容（目標、方法など）をお聞かせください。

1. 道路、水道、下水道などの公共的都市基盤の充実
2. 電力、通信など民間による基盤整備への促進、支援
3. 交通条件や操業環境が整ったまとまった商業施設用地の確保と供給
4. 企業間の協力・連携および共同事業を促進する交流の場づくり
5. 大学や研究機関の技術開発力を活用できる協働の機会づくり
6. 市内企業の製品を市民に紹介、販売するなど、地域販路の整備
7. 地域の商業への住民の理解を高める「まちづくり」の組織や場づくり
8. 事業資金を安定的に確保するための公的融資、公的保証
9. 地元の農産物などを原料として活用する農工商連携や 6 次産業化支援
10. 住宅地の再整備など、人口増加と少子高齢化抑制のための施策
11. 商店会（商店街）など生活支援商業の再生のための施策
12. その他（　　）

「◎主なもの」について、具体的な内容のイメージをお聞かせください。

F. 近年の社会経済動向への対応について

(18) 東日本大震災の影響について

平成 23 年 3 月 11 日に発生した「東日本大震災」は、東北および北関東地方に大きな被害をもたらし、その影響は広い範囲に及んでいます。貴店舗では今回の震災によって何らかの影響を受けられましたか。また、その影響は、どの程度でしたか。

（次ページへ続く）

1. 仕入れ先が直接被害を受けた
2. 納入先が直接被害を受けた
3. 直接の取引先に被害はないが、商品確保などに影響が出ている
4. 生産に影響はないが、消費が落ち込み、受注が減少している
5. 震災の影響で新たな需要が発生し、受注や売上げが伸びている
6. 特に今回の震災の影響はない

→ 1 ～ 4. で「影響があった」とお答えの方にお聞きします。

その影響は、どの程度でしたか。：出荷量の　　% 程度の減少（または増加）

影響はまだ続いていますか（平成 23 年 9 月現在）　1. 続いている　　2. すでに終息した

(19) 生産拠点の海外移転などについて

長期にわたる国内景気の低迷、アジアをはじめとする新興工業国の台頭、為替の不安定化と円高の持続など、すでに長期にわたって我が国の企業（特に製造部門）の海外移転を促す要因と状況が続いています。貴店舗または店舗が属する企業またはグループでは、製造部門の海外移転または進出などを進めておられますか。

1. すでに海外移転しており、今後さらに移転を進める
　（主要国：　　移転比率：　　% 程度）
2. すでに海外移転しているが、更に進める予定はない
　（主要先：　　移転比率：　　%程度）
3. 現在はまだ海外へ移転していないが、検討中である
4. 現在は検討していないが、将来には可能性がある
5. 海外移転の可能性はない（または、極めて低い）
6. その他（　　）

(20) 地球温暖化（気候変動）問題への対応について

温室効果ガス、特に二酸化炭素の排出を抑制し、地球環境、特に温暖化を伴う気候変動を防止するための世界的な合意とこれに基づく政策が進められつつあります。商業部門においても今後、さまざまな対応が強く迫られるものと見込まれています。

貴事業所では、地球温暖化問題への取り組みをどのように検討または推進しておられますか。以下からあてはまるものを「いくつでも」選んで、その検討程度を「実施中：◎」「検討中：○」でお答えください。

1. エネルギー源の CO2 排出抑制（太陽光、風力、コジェネなど）
2. 原材料の製造過程の管理（原料製造過程の CO2 排出サーベイなど）
3. 店舗での生産過程でのエネルギー消費の抑制（機器の効率化など）
4. 製造過程での副産物のリサイクル利用など
5. 店舗や倉庫などの照明、空調などの抑制や効率化（LED 照明の導入など）
6. 従業員の通勤などに伴うエネルギー消費の抑制（自転車通勤の奨励など）
7. 製品出荷に伴う無駄の削減（配送の統合化、梱包の簡素化など）
8. テレビ会議の導入など出張移動の削減
9.ISO 認証の取得など、総合的な環境管理の徹底
10. その他（　　）
11. 特になし

(21) 消費者の安全性への関心の高まりへの対応について

近年、食品や生活用品（家電、雑貨、玩具など）への有害物質の混入、製品の製造過程や廃棄方法に伴う環境影響など、消費者の「安全」への意識が急速に高まっており、これに伴って製品リサイクルやトレーサビリティに関する制度や規制も強まりつつあります。

貴店舗では、この「消費者の安全」への取り組みをどのように検討または推進しておられますか。以下からあてはまるものを「いくつでも」選んで、その検討程度を「実施中：◎」「検討中：○」でお答えください。

1. 原材料について、その品質管理を徹底する
2. 製造過程での有害物質の混入を未然に防ぐ
3. 製品の品質検査を徹底し、有害物質が混入した製品の出荷を防ぐ
4. 製品および原料などの流通過程のトレーサビリティの確保
5. 取扱説明書などを完備し、誤った使用による事故などを防ぐ
6. その他（　　）
7. 特になし

G. 自由意見

松原市が策定しようとする「産業振興ビジョン」および、これに基づいて進める松原市の産業振興・産業支援施策について、自由にご意見やご提案をお書きください。

※アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

※お差し支えなければ、以下の事項にご記入ください。追って詳しくお話を伺う場合もございます。

なお、ご記入頂いた個人情報は、松原市個人情報保護条例に基づき、適切に管理します。また、個別の企業名等を公表することは一切ありません。

事業所名
住所／ご連絡先：

ご担当／役職：
氏名：